

# 公共施設老朽化・学校跡地の状況について

4月からくす星翔中学校が開校しました。

そのため、各地区にある中学校の校舎・体育館・グラウンドなどを今後どのように活用するのか、みなさんと具体的に考えて・実行する必要があります。

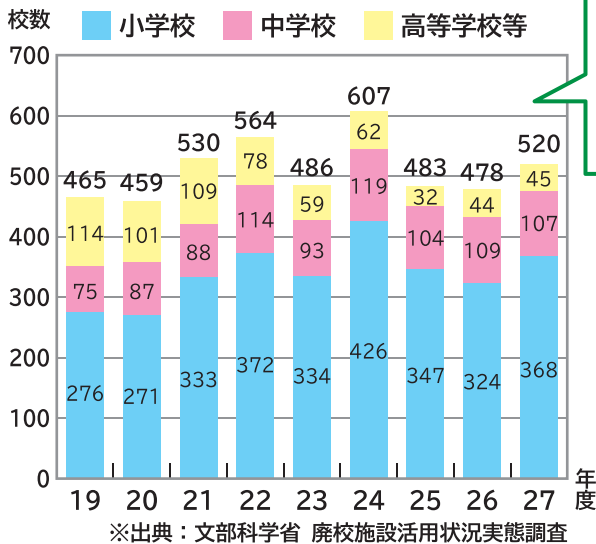
今回、学校跡地について基本的な考え方を整理しましたのでお知らせします。



玖珠町の人口推計 20,907人 (1990年) → 15,954人 (2017年) → 10,940人 (2045年)

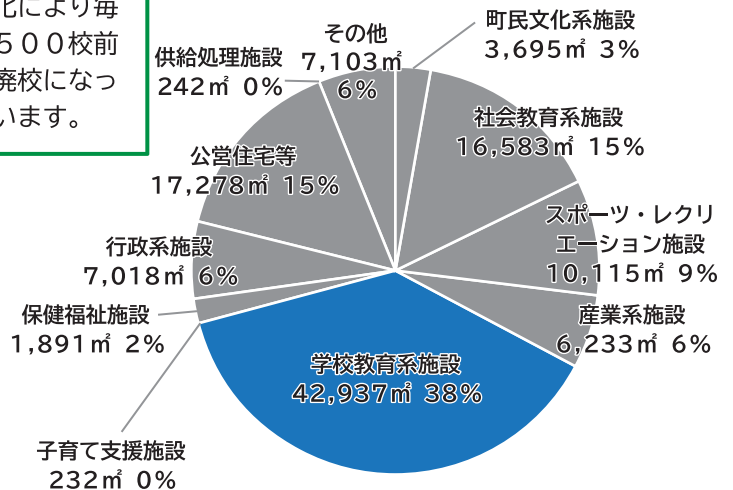
※出典：玖珠町人口ビジョン

## ○全国の廃校状況（全国）

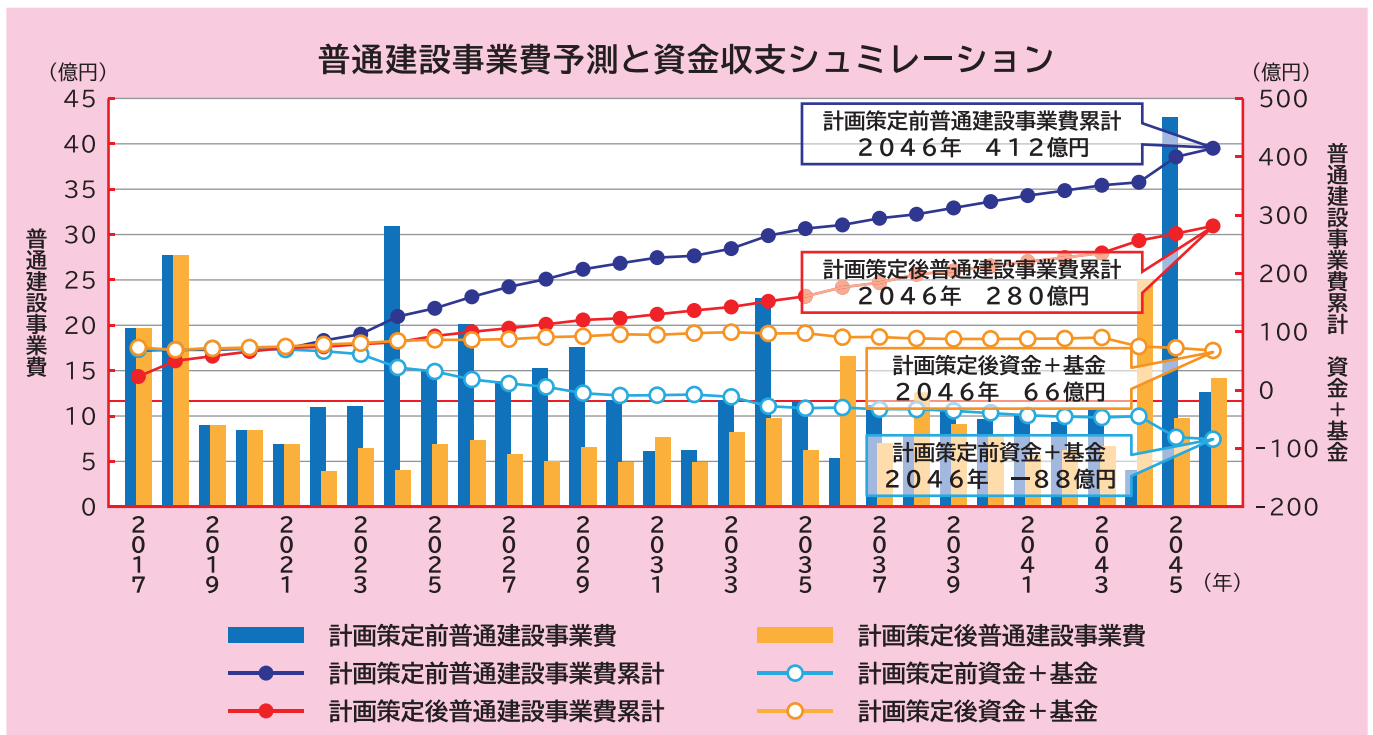


全国では少子化により毎年500校前後廃校になっています。

## ○公共施設延床面積



## ○公共施設等更新状況



- 現在所有する公共施設（公民館など）を維持更新すると**30年間で約412億円**が必要です。この金額は、**まちづくりに大きな影響**を及ぼため、更新事業費や人口減少を踏まえた**公共施設のマネジメントが必要**です。
- 建物の延床面積の割合を見ると学校教育系施設が多い状況です。（中学校の跡地を含んでいます）そのため、**今後の学校跡地活用方法がポイント**になります。

# 学校跡地（校舎・体育館・グラウンド）について基本的な考え方を整理しました

「全国的な廃校状況」「施設老朽化」「建物利活用事業費」  
「資産活用としての有効性」など



## 学校等施設利活用基本計画を策定

### 主なポイントは3点

- 利活用エリア単位（校舎・体育館・グラウンド）で区分など
- 体育館の整備方針、未活用校舎などの除却時期の明確化
- 実施計画に向けた行政及び民間活用など優先順位設定

### □利活用エリア（校舎・体育館・グラウンド）の区分

1つの学校でも校舎や体育館など施設は広く、そのため具体的に考える上で、各エリアで棲み分けを行います。

### □体育館の整備方針・未活用校舎などの除却時期の明確化

くす星翔中学校の体育館の一般開放を予定していますので、体育館の供給過剰が見込まれます。そのため、建物の老朽化や利用状況を鑑み、今後の整備方針を明確にしました。

また、活用されない校舎なども最終的には危険建築物になるため、解体する時期などを明確にしました。

### □実施計画に向けた優先順位の設定

利活用も「行政が活用する場合」「民間企業が活用する場合」「地域団体が活用する場合」など様々で、その取扱いも異なります。そのため各学校単位での優先順位を決め、企業の活用などに対応できるように行いました。

## ○活用優先順位の設定

(例)	①行政による活用	②地域活用	③企業等活用	①～③の複合活用	④除却
	地域拠点づくり行政施設として活用	加工所、宿泊所など(地域振興施設)	工場、オフィス、福祉施設など(企業誘致)	1階は公民館、詰所 2階は企業オフィス 調理場は加工所など	校舎などの完全売却
森 中	2	1	1	2	3
古 後 中	1	2	2	2	3
日出生中	1	2	2	2	3
山 浦 中	—	1	1	—	3
北山田中	2	1	1	2	3
玖 珠 中	1	2	2	2	3
八 幡 中	2	1	1	2	3

今回、学校施設の利活用について優先順位を設定しました。これは民間企業などの進出想定と、今後のまちづくりとなる拠点施設整備などの整合を保つためです。

学校跡地は地区の中心地であり、資産活用としても有効です。また、どの活用方法もメリット・デメリットがあります。そのため課題事項を明確にし、地域の方との対話が大切になります。

### 校舎や教室は貸付できるの？

校舎などの具体的な活用を検討していますが、すぐに実行とはなりません。そのため当面の間は、校舎などの暫定的な貸付を行うための準備をしています。

現時点では、学校備品などの整理が終了する10月上旬を予定しています。



- ・将来人口を見据えて**体育施設に対する今後の行政サービス見直し**が必要です。
- ・「**過大供給を防ぐ納税者視点**」「**快適な施設利用の受益者視点**」2つの視点により方針決定しました。
- ・今後迎える改修事業費、施設利用者状況・近隣体育館なども調査しました。

対象施設	当面の方針	整備方針
町民体育館(玖珠中)	星翔中供用開始により休止など	利活用確定後に除却
森中学校体育館	社会教育施設として暫定利用	建替更新時に除却
北山田中学校体育館	社会教育施設として暫定利用	利活用確定後に除却

※いずれも学校利活用により流動的になります。ただし、面積圧縮は実施します。

☎ 企画商工観光課 企画政策班  
☎(72) 1151